

足近小学校 令和3年度 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和3年5月14日(金) 10:30～11:30
- 2 出席者 羽島市教育委員会 渡邊秀樹 教育支援センター所長補佐
学校運営協議会委員 13名

3 内容

- (1) 委嘱式と校長あいさつ
- (2) 委員の紹介(委員名簿に従って自己紹介)
委員長、副委員長、地域学校協働活動推進委員の決定
【会則第10条、第1項】
委員長・・・足近町コミュニティセンター協議会会長、副委員長・・・校長
(今年度より) 地域学校協働活動推進委員・・・足近町コミュニティセンター館長

- (3) 授業参観(廊下から、密にならないように、間隔をあけて参観)

- (4) 協議

○校長より学校経営方針、学校評価、現状について、資料をもとに説明

学校経営方針については、昨年度承認された方針を引き継ぐ。

学校評価については、新たにICTの効果的な活用について加える。

現状については、落ち着いた学習・生活態度で過ごせている。登下校等における保護者の方、地域の方の支えを強く感じる。

<今年度大切にしたいこと>

■学校の教育目標の具現に徹する。(教職員自らの姿で示す!)

■どの子ども安心して生活することができる学校(安全・安心は最優先!)

・教職員の笑顔が大切!

心にゆとりをもち、笑顔で接することが、子供たちに安心感をもたせることにつながる。

・ひとつのことばを大切に!(ことばを押し出すのは心)

・一人の子供を全職員で支援する。担任一人に任せきりにすることなく、全教職員が担任である意識をもち、情報共有しながら、ワンチームで対応していく。

・子供たちには、「何か困ったことなどを相談したい時は、どの先生でもいいよ。相談しやすい先生でいいからね。」と伝える。もちろん、相談することができない子供もいるので、全教職員が子供たちの日々の生活の様子を観察、または、子供が書いた「あのねアンケート」の記載内容から、「子供たちの内なる思い」を早期に把握することに努める。

・子供の可能性を引き出す。(よいところを見つけ、認め、励ます)

・子供の不安、悩み、心配ごと、困ったことなどに傾聴し、共に解決に向けて取り組む。最終的には、子供に自己決定させたい。〔あなたは、どうしたいの?〕

・安全配慮義務をしっかりと果たす。(新型コロナウイルス感染症への対応を含む)

安全な学習環境の設定、安全面に係る事前指導、危険物の除去、危険な行為の制止 等

・報告・連絡・相談を徹底する。

■教育公務員として信頼を損なう不祥事の根絶

○修学旅行について

<委員>

昨年度は日帰り旅行のため、早朝から夜までのゆとりのない行程で体調を崩したという声を聞いているので、できるだけ余裕のある計画を立てた方がよいと思う。コロナの感染状況によるが、もし宿泊ができない場合は、予算の範囲内で日帰り旅行を2回実施することも考えてみてはどうか。

<委員>

保護者としては、親元を離れて宿泊するという経験をさせてあげたい。今経験しなくても、今後もチャンスはあるが、もし京都の宿泊ができない場合は、行き先を京都から変えても宿泊する経験をさせたい。

<委員>

当初の予定通り実施する方向で進め、ぎりぎりまで状況を見て判断するとよい。

○水泳授業の実施について

<委員>

足近保育園では、感染防止対策を講じた上で実施予定。(昨年度も実施した。)

<委員>

感染防止対策をすれば、実施してよい。

<渡邊所長補佐>

コミュニティスクールが始まって、5年目となる。子供を中心に置いた議論をしていただいていることに、感謝している。

(5) その他

■第2回 7月1日予定

■第3回 2月9日予定

※時間等は追って連絡

4 閉会のあいさつ

<委員長>

学校に協力できることはしていくので、コロナ渦ではありますが子供を中心に考えた議論をしていきましょう。

5 お礼の言葉

<校長>

意見を参考に、より良い方向を検討していきたい。ありがとうございました。